

葛城市 公共交通に関するアンケート調査結果 結果のポイント（案）

1. 調査の概要

概要を以下に示す。

項 目	内 容
調 査 名 称	葛城市 公共交通に関するアンケート調査
調 査 時 期	平成 26 年 12 月 8 日（配布）～12 月 26 日（回収）
調 査 地 域	葛城市全域
配 布 数	3,000 世帯
調 査 対 象 者	葛城市 住民基本台帳から世帯主を無作為に抽出
そ の 他	回答の対象は、中学生以上（平成 14 年 4 月 1 日以前生まれ）

また、調査項目を以下に示す。

設問番号	分類	項 目
設問 1	世帯の居住地	①大字
設問 2	回答者の属性	①性別 ②年齢 ③職業 ④自動車運転頻度
設問 3	外出の状況	①出かける主な目的 ②目的地の場所 ③出かける頻度 ④目的地までの移動手段
設問 4	公共交通全般について	①葛城市の公共交通の充実度 ②公共交通の利便性 ③公共交通が不便な場合の代替手段等
設問 5	路線バスについて	①利用状況 ②利用する理由 ③利用しない理由
設問 6	コミュニティバスについて	①利用状況 ②利用する路線 ③利用する理由 ④利用しない理由 ⑤改善点 ⑥利用しやすくなった場合の行きたい場所 (利用目的・行き先、利用頻度)
設問 7	今後の公共交通について	①コミュニティバスの有料化について ②有料化した場合の料金 ③市の公共交通に対する費用負担について ④今後の公共交通の利用について

2. 調査結果の概要

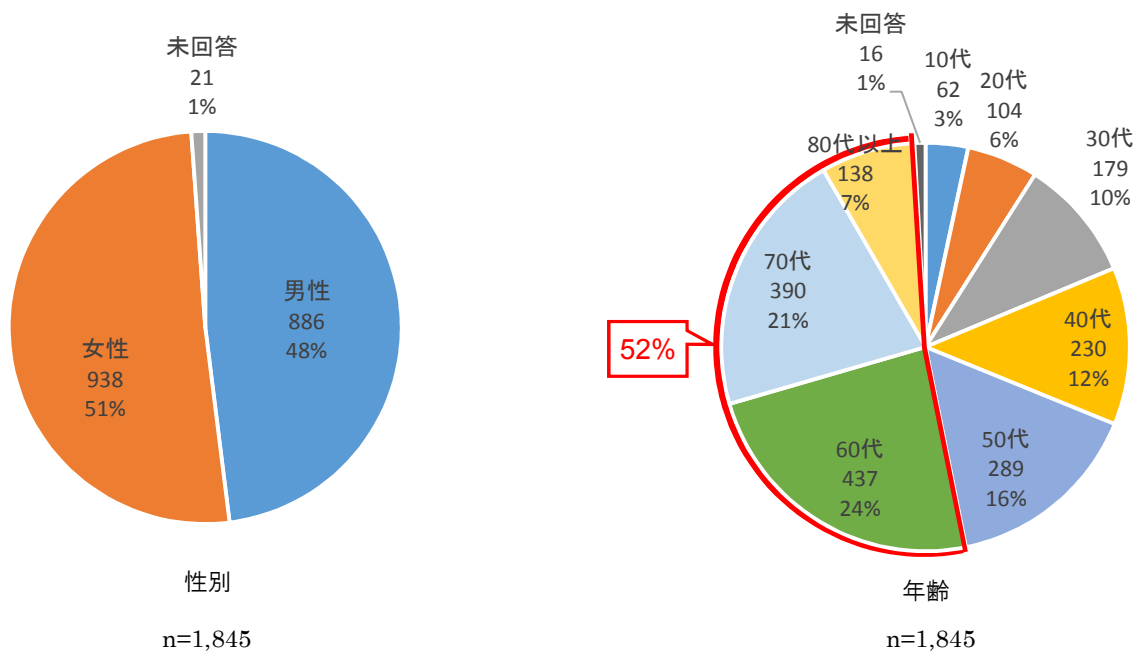
回収結果を以下に示す。

配布数	回収数	回収率	回答者数
3,000 部	949 通	31.6%	1,845 人

2. 1. 属性

性別については、51%が女性であった。

年齢については、60代以上が52%であり、高齢者の回答が半数を占めた。



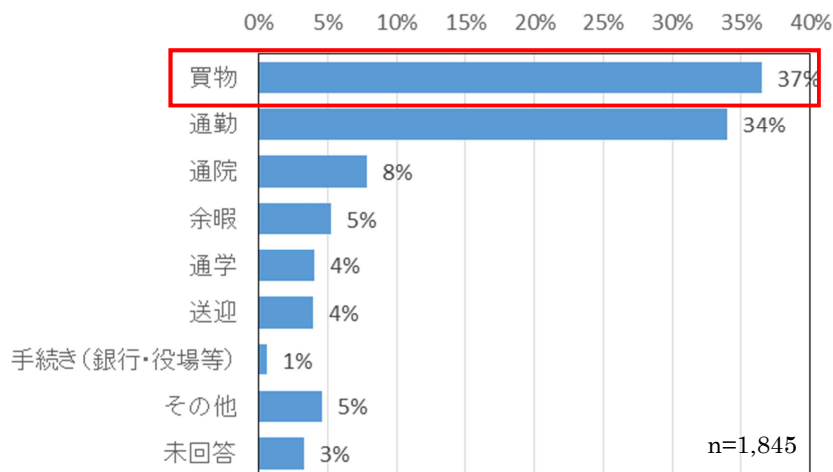
2. 2. 普段の生活での外出について

外出について、1番目（最も）、2番目、3番目によく出かける主な目的について、それぞれ目的地の場所、頻度、移動手段を質問した。

ここでは、1番目（最も）よく出かける主な目的について集計した。

①出かける主な目的

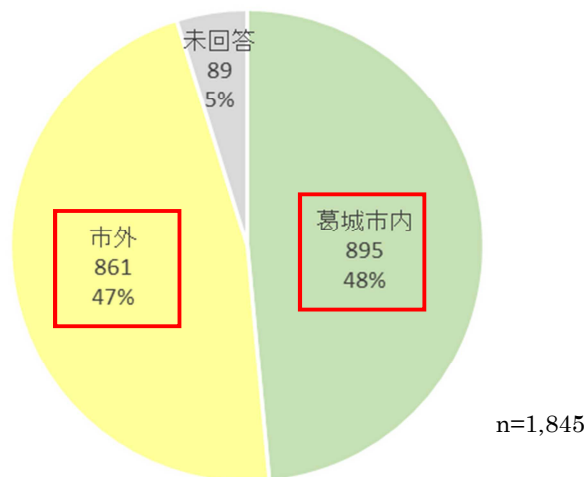
出かける際の主な目的は、「買物」が37%と最も多く、次いで「通勤」であった。



出かける主な目的

②目的地の場所

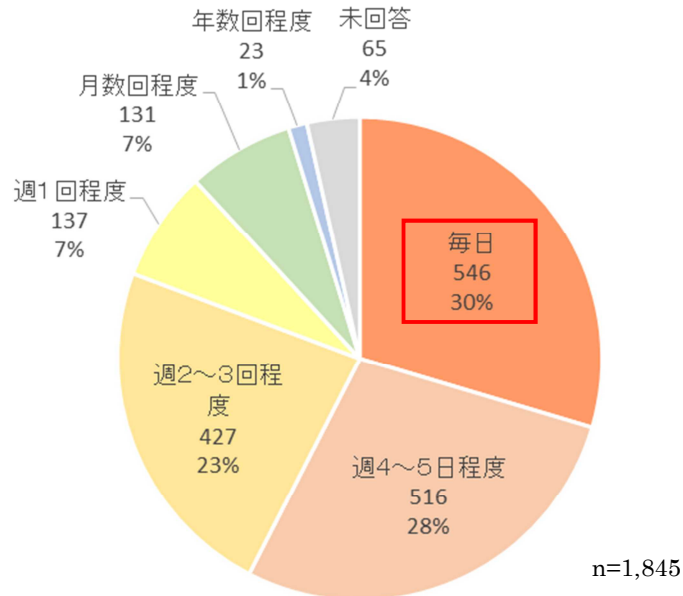
目的地の場所は、48%が「葛城市内」、47%が「市外」であった。



目的地の場所

③出かける頻度

出かける頻度は、「毎日」が30%と最も多く、次いで「週4～5日程度」であった。

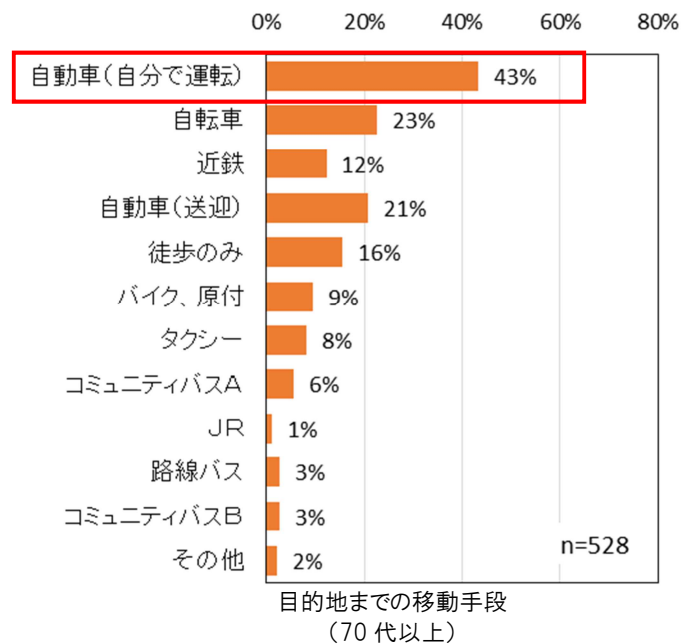
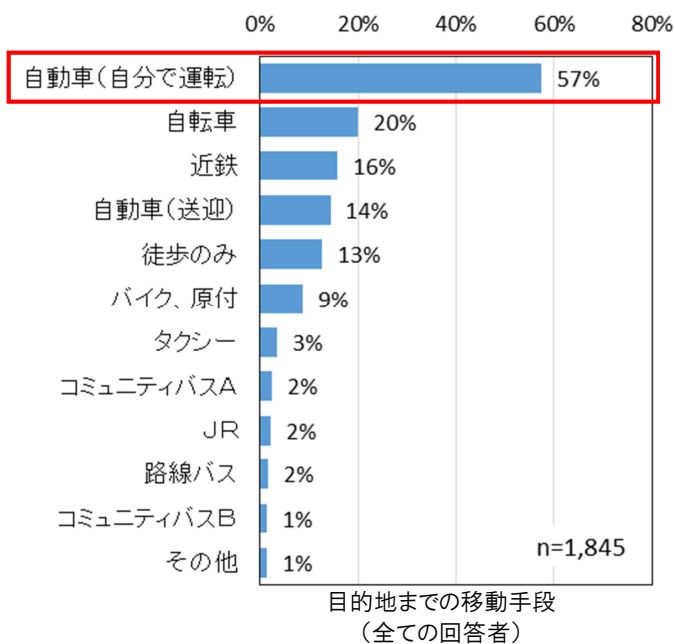


出かける頻度

④目的地までの移動手段

目的地までの移動手段は、全ての回答者では、「自動車（自分で運転）」が約57%と他と比べ非常に多かった。

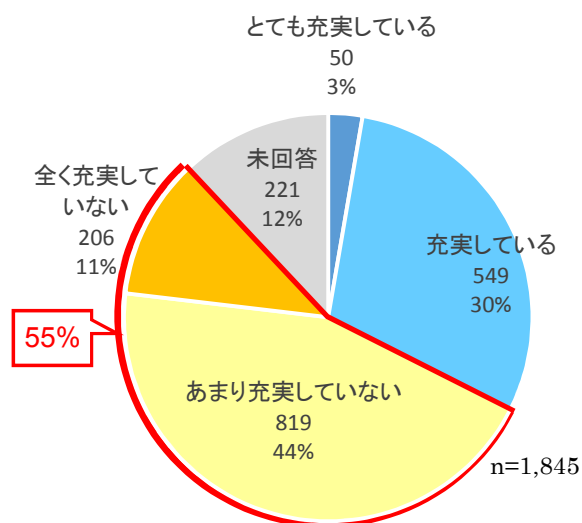
また、70代以上の高齢者の方で集計した結果、全ての回答者に比べ「自動車（自分で運転）」の回答割合が減少し、他の手段の割合が増加した。



2. 3. 公共交通全般について

①葛城市内の公共交通の充実度

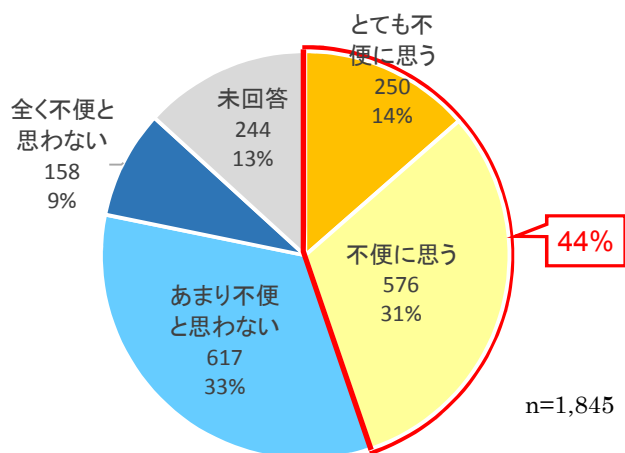
市内の公共交通の充実については、「あまり充実していない」が44%と最も多く、「全く充実していない」と合わせると55%と過半数を占めている。



葛城市内の公共交通の充実度

②外出したい時の公共交通の不便度

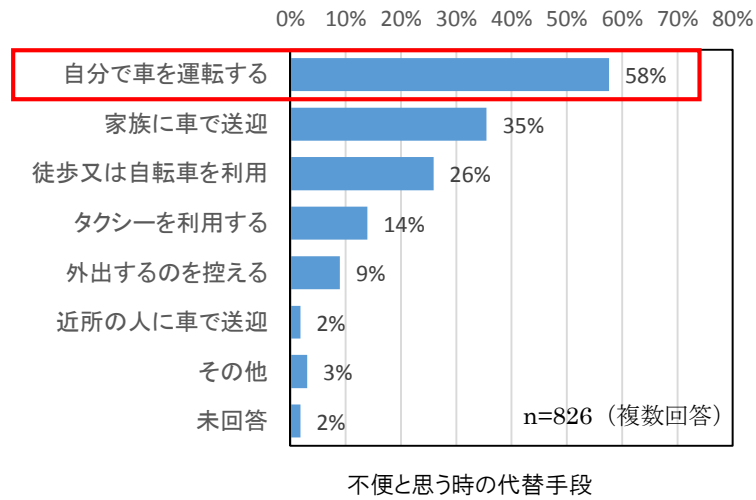
外出したいときの公共交通の不便度は、「とても不便に思う」「不便に思う」合わせると44%の方が不便と感じている。



外出したい時の公共交通の不便度

③不便と思う時の代替手段

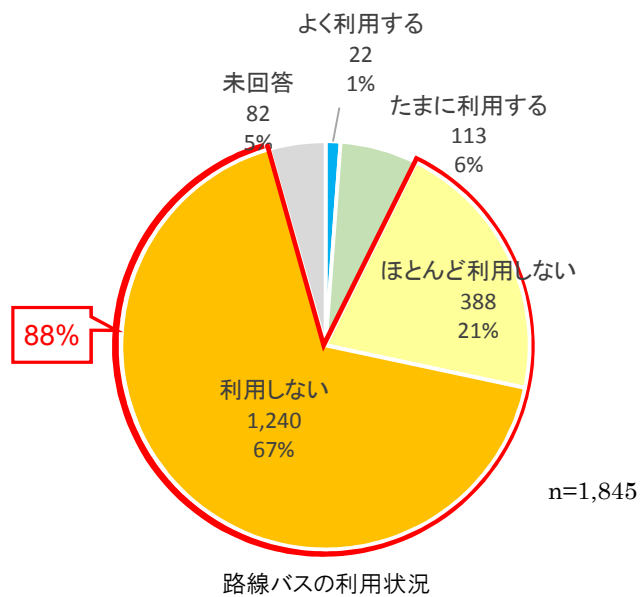
不便と思う時の代替手段としては「自分で車を運転する」が58%と最も多く、次いで「家族に車で送迎」であった。



2. 4. 路線バスについて

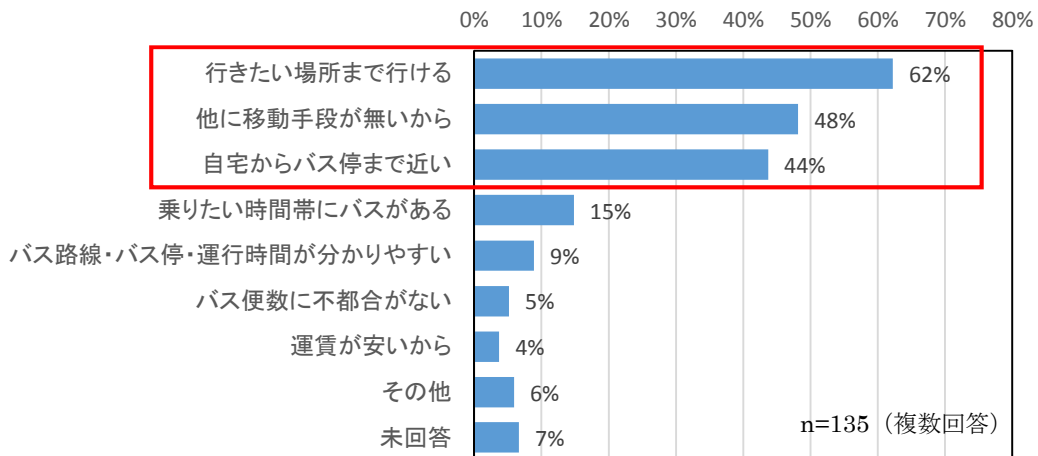
①路線バスの利用状況

路線バスの利用状況は、「利用しない」が67%と最も多く、「ほとんど利用しない」21%と合わせると約9割が路線バスを利用していない状況である。



②路線バスを利用する理由

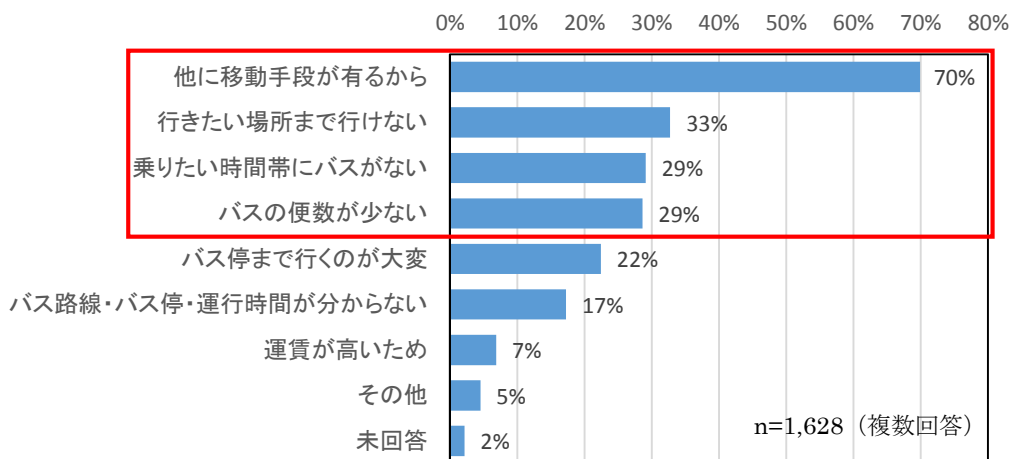
路線バスを利用する理由としては、「行きたい場所まで行ける」が62%と最も多く、次いで「他に移動手段が無いから」48%、「自宅からバス停まで近い」44%の理由が多い。



路線バスを利用する理由

③路線バスを利用しない理由

路線バスを利用しない理由としては、「他に利用手段があるから」が70%と最も多く、次いで「行きたい場所まで行けない」33%、「乗りたい時間帯にバスが無い」29%、「バスの便数が少ない」29%であった。

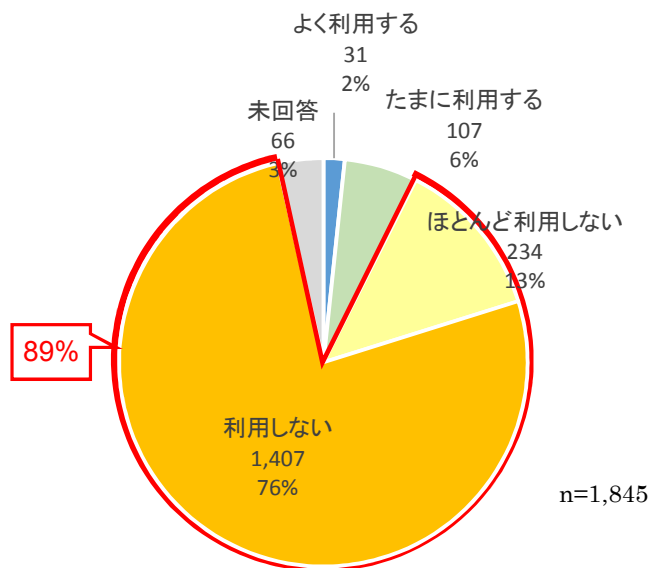


路線バスを利用しない理由

2. 5. コミュニティバスについて

①コミュニティバスの利用状況

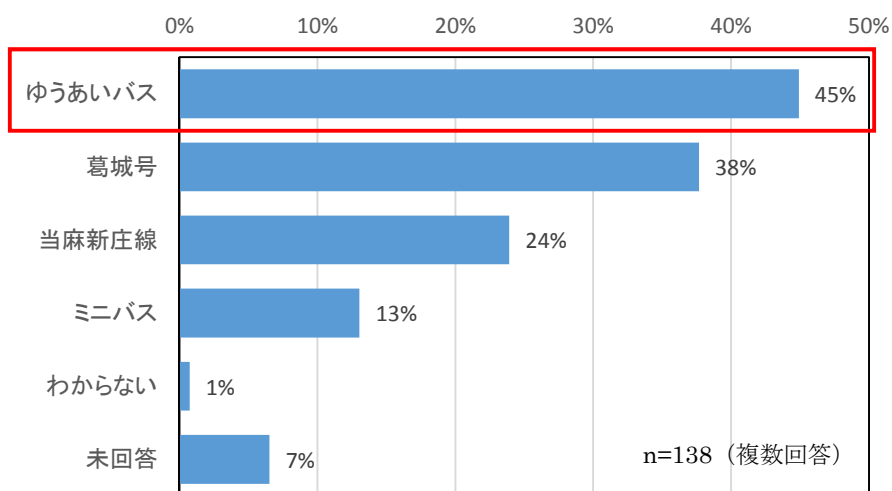
コミュニティバスの利用状況は、「利用しない」が76%と最も多く、「ほとんど利用しない」13%と合わせると約9割がコミュニティバスを利用していない状況である。



コミュニティバスの利用状況

②利用しているコミュニティバス

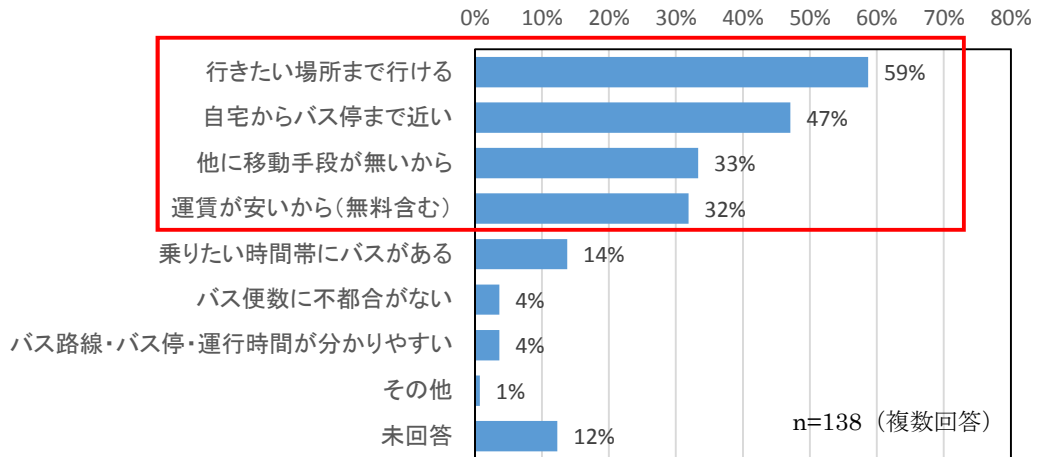
上記質問で「よく利用する」と「たまに利用する」と回答した方のうち、利用しているコミュニティバスは「ゆうあいバス」が45%と最も多く、次いで「葛城号」である。



コミュニティバスの利用状況

③コミュニティバスを利用する理由

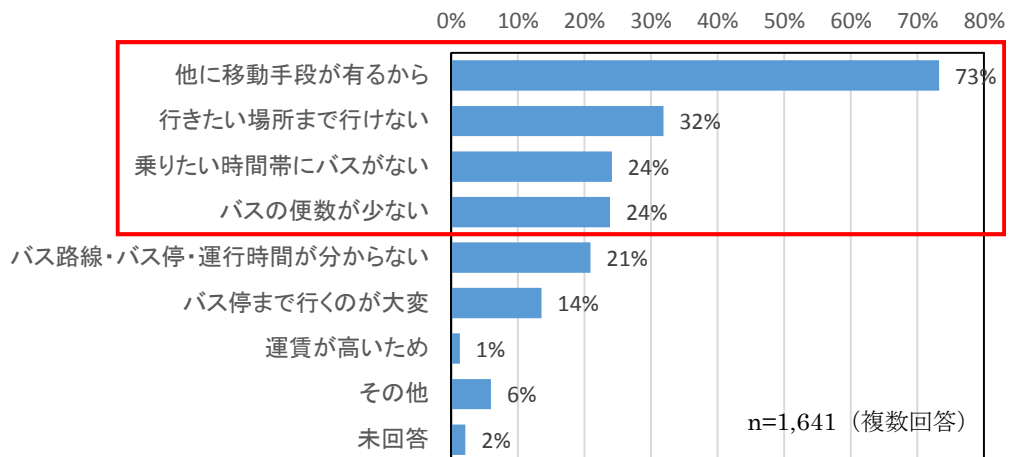
コミュニティバスを利用する理由としては、「行きたい場所まで行ける」が59%と最も多く、次いで「自宅からバス停まで近い」47%、「他に移動手段が無いから」33%、「運賃が安いから（無料含む）」の理由が多い。



コミュニティバスを利用する理由

④コミュニティバスを利用しない理由

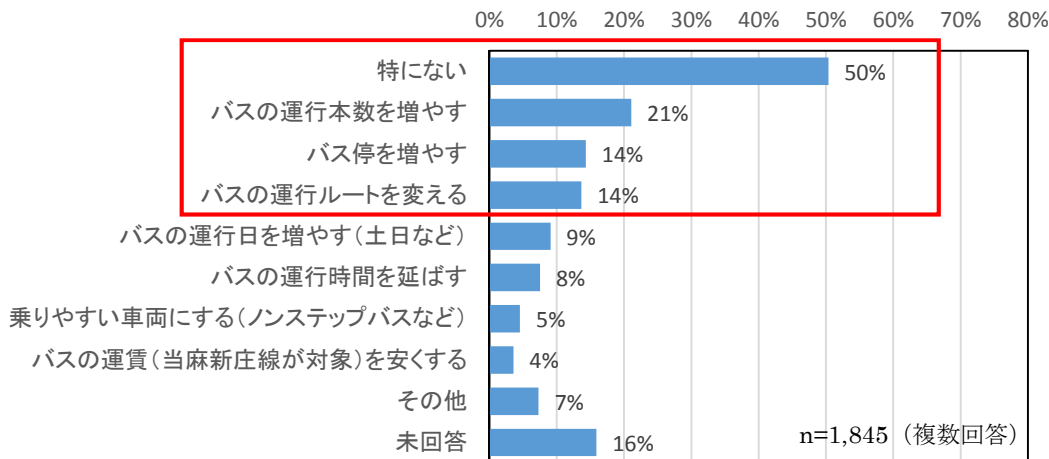
コミュニティバスを利用しない理由としては、「他に利用手段があるから」が73%と最も多く、次いで「行きたい場所まで行けない」32%、「乗りたい時間帯にバスが無い」24%、「バスの便数が少ない」24%であった。



コミュニティバスを利用しない理由

⑤コミュニティバスの改善案

コミュニティバスの改善案としては、「特にない」が50%と最も多く、次いで「バスの運行本数を増やす」21%、「バス停を増やす」14%、「バスの運行ルートを変える」14%の意見が多い。



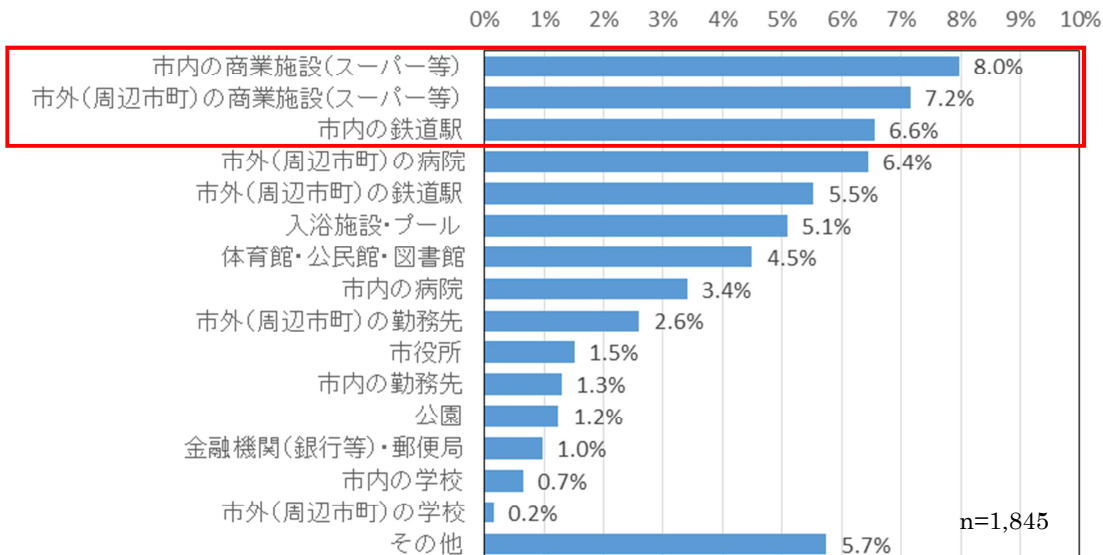
コミュニティバスの改善案

⑥コミュニティバスの改善後について

コミュニティバスが利用しやすくなったら、バスを使って行きたい場所について1番目(最も)、2番目と、それぞれ目的・行き先、利用頻度、移動手段を質問した。ここでは、1番目(最も)に行きたい場所について集計した。

⑥-1 行きたい目的地

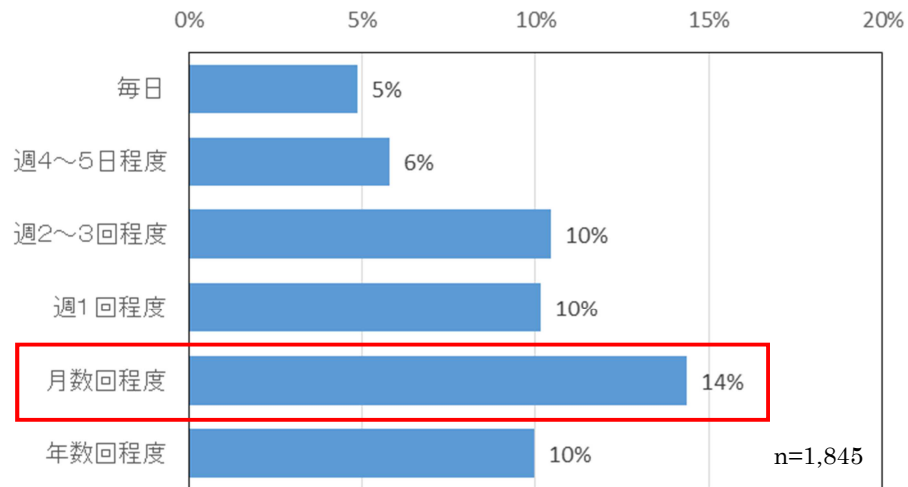
コミュニティバスを利用して行きたい場所は、「市内の商業施設(スーパー等)」8%、「市外の商業施設」7%、「市内の鉄道駅」7%、と、買い物先と駅の意見が多い。



コミュニティバスを利用して行きたい場所

⑥-2 利用頻度

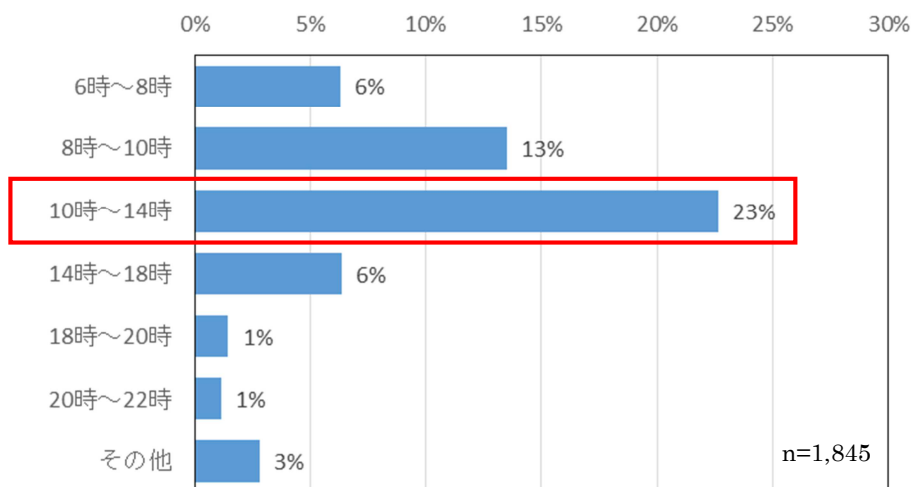
コミュニティバスが改善された場合の利用頻度は、「月数回程度」が14%と最も多く、次いで、「週2～3回程度」及び「週1回程度」が10%であった



コミュニティバスの利用頻度

⑥-3 利用する時間

コミュニティバスを利用する時間帯は、「10～14時」が23%と最も多く、次いで「8～10時」となっており、午前中を中心とした昼間時間帯が多い。

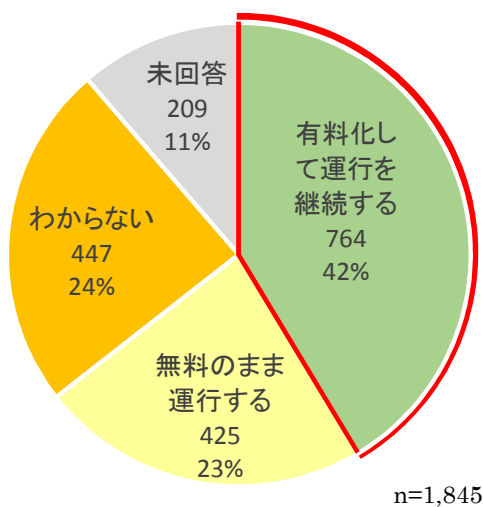


コミュニティバスの利用時間帯

2. 6. 今後の公共交通について

①コミュニティバスの無料運行について

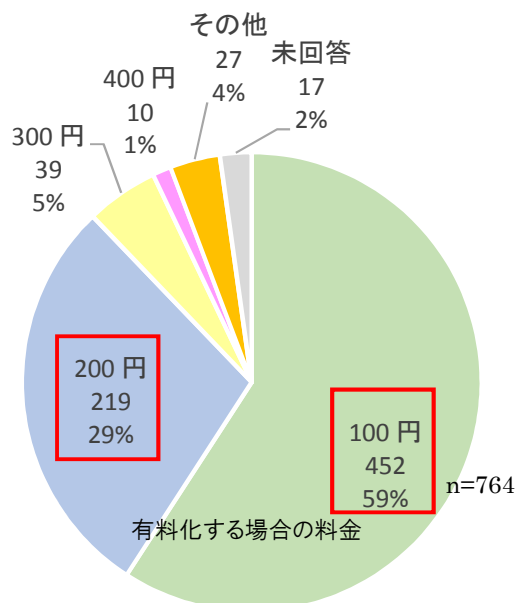
コミュニティバスの無料運行については、「有料化して運行を継続する」が42%と最も多かった。なお、「無料のまま運行する」は、23%であった。



運行時の料金形態

②有料化する場合の料金

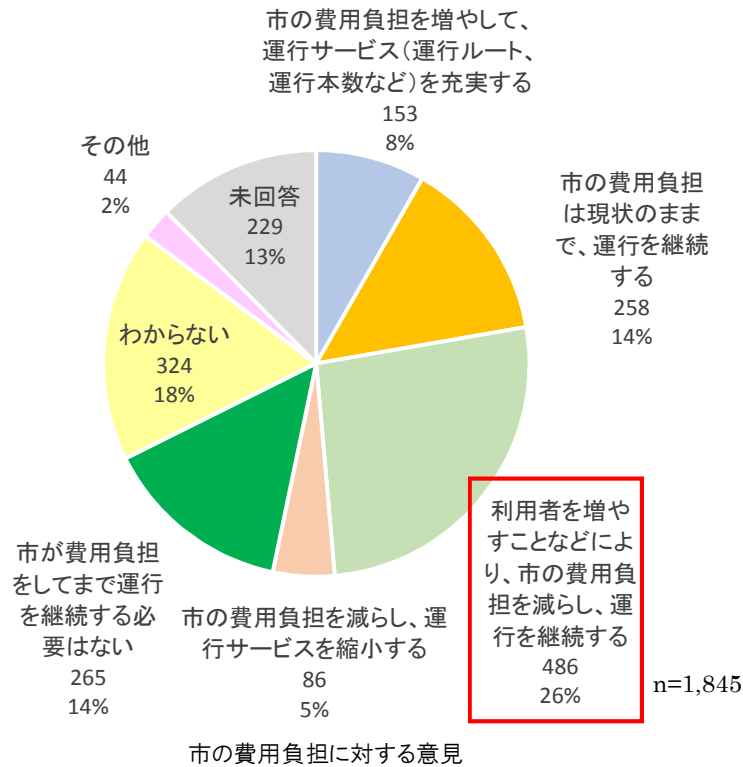
「有料化して運行を継続する」と回答した方のうち、「100円」と回答した方は約6割、「200円」と回答した方は約3割であった。



③公共交通への市の費用負担について

公共交通への市の費用負担に対しては、「利用者を増やすことなどにより、市の費用負担を減らし、運行を継続する」が26%と最も多かった。

一方、「市が費用負担するまで運行を継続する必要はない」は14%であった。



④今後の公共交通

公共交通の今後の利用意向に対しては、「現在は利用していないが、将来は利用したいと思う」が37%と最も多かった。

「現在も利用しており、将来も利用すると思う」と合わせると、約4割の方が「将来利用すると思う」回答であった。

